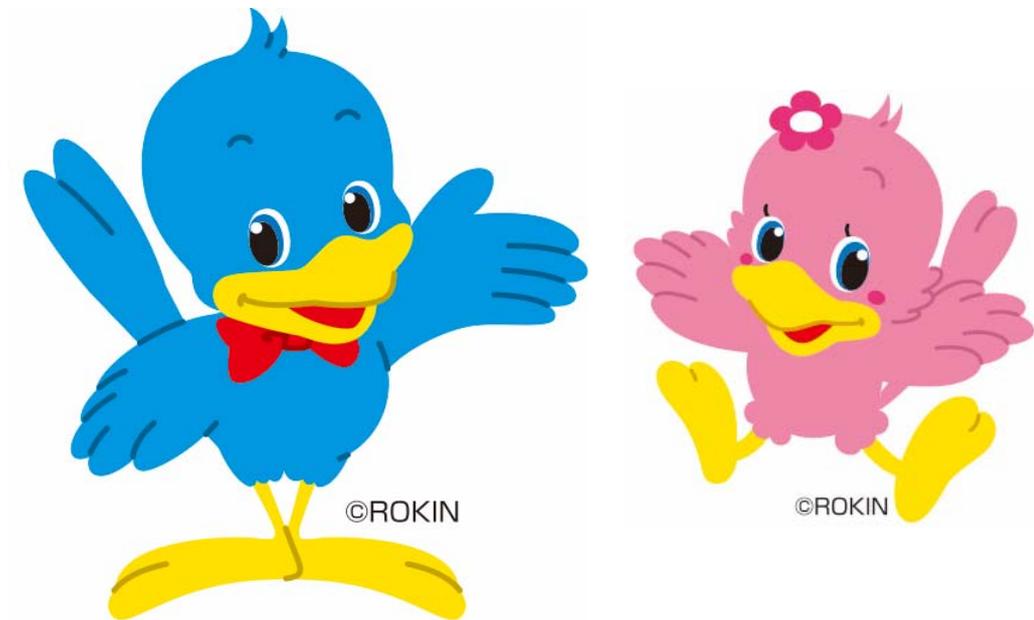


2023 年度

第4回 全道推進会議



日時 2024年1月29日(月) 15:00～

場所 札幌ガーデンパレス 2階「孔雀」

札幌市中央区北1条西6丁目 (011) 261-8711

北海道労働金庫推進会議

議 事 次 第

開 会 永田副議長

全道推進会議挨拶 高倉議長

<来賓挨拶>

北海道労働金庫 出村理事長

北海道労働金庫

<報告事項>

1. 「2024年度事業計画」(原案)について 高橋専務理事
2. 「2024年度 つなぐプロジェクト for SDGs の取組み」について 梶部長
(営業推進部)
3. 「2024年度共生社会の実現に向けた取組方針」について 榎田室長
(地域共生推進室)

～質 疑～

全道推進会議

<報告事項>

【重点取組項目】

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」における「自主目標設定運動」の取組み 高尾事務局次長
2. 【生活応援運動】における「可処分所得向上運動」の取組み //

【共通取組項目】

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の展開 高尾事務局次長
2. 職域活動費の効果的な活用 //
3. 新型コロナウイルス感染症の分類見直し後における運動の展開 //
4. 連合北海道 2023 生活アンケート (速報値) //

<協議事項>

1. 連合北海道 2024 春季生活闘争方針における「ろうきん運動」の取組み 高尾事務局次長
2. 各種取組みの周知活動 //
3. 役員の変更 //
4. 今後の日程 //

～質 疑～

閉 会 副議長

<報告事項>

1. 「2024 年度事業計画」 (原案) について
2. 「2024 年度 つなぐプロジェクト for SDGs の取組み」について
3. 「2024 年度共生社会の実現に向けた取組方針」 について

～ 別添資料参照 ～

全道推進会議

<報告事項>

<重点取組項目>

1. 【つなぐプロジェクト for SDGs】における「自主目標設定運動」の取組み
 - (1) 【つなぐプロジェクト for SDGs】の達成にむけ「会員自主目標推進運動」を『重点取組み項目』に設定し、ろうきん運動の強化・ろうきん利用者の裾野拡大に取組みました。
 - (2) 各店・出張所推進委員会においては、「会員自主目標の設定件数」が「つなぐプロジェクト会員目標」に近づくよう取組みを展開した結果、会員自主目標推進運動は12月末時点で662会員となりました。【資料1-①・②参照】
2. 【生活応援運動】における「可処分所得向上運動」の取組み【資料2参照】
 - (1) 『共通取組み』である【生活応援運動】の展開において、昨今の物価高騰等の状況を踏まえ、より重要性が増している家計の可処分所得向上に資する取組みを『重点取組み項目』に設定し、組合員の生活改善に取組みました。
 - (2) 可処分所得向上額10億円を目標に、職域活動費を活用した学習会等による組合員への周知活動、「他行・他社高金利ローンからろうきんの低金利商品への借換推進」や「奨学金借換ローンの周知活動」によって、組合員の可処分所得向上に資する運動を展開しました。なお、自治労北海道が、奨学金の返済に苦慮する仲間の支援に加え、組織強化と次代の担い手育成につなげることを目的に、北海道労働金庫と連携の上、2022年12月に取扱いを開始した組合保証の「奨学金借換ローン」は、2023年12月末時点で、57件、1億35百万円の取組実績となりました。

① 可処分所得向上運動

可処分所得向上額 (2023年12月末時点)
【実績】5億68百万円 (前年同期比+96百万円)
可処分所得向上運動に関する学習会開催実績 (2023年12月末時点)
【実績】358件/8,677名 (前年同期比+152件)

② 「奨学金借換ローン」「奨学金借換+αローン」周知運動

【奨学金借換ローン】

奨学金借換ローン新規実績（2023年12月末時点）
【実績】43件／1億12百万円（前年同期比+23件／68百万円）
奨学金借換ローン累計実績（2023年12月末時点）
【実績】512件／12億44百万円（集計期間：2017年10月1日～2023年12月31日）

【奨学金借換+αローン】

奨学金借換+αローン新規実績（2023年12月末時点）
【実績】27件／1億12百万円

③ 非正規雇用組合員取引拡大運動

全力応援 pack（非正規勤労者向け融資商品）新規件数（2023年12月末時点）
【実績】461件（前年同期比▲41件）

<共通取組項目>

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の展開【資料3-①～③参照】

- (1) ろうきんが、組合員にとって「身近な金融機関」であり、更には「一番利用される金融機関」となるよう、会員・推進機構とろうきんが一体となって、ろうきん運動の強化と利用者の裾野拡大に取り組みました。
- (2) 具体的には、「会員自主目標推進運動」を基軸として、年度当初に寄付先を選定し、地域団体への貢献と連携を進めたうえで、大会議案書での取組方針化や機関紙掲載、また執行委員会・学習会等での議題化等により、組合員へ広く知らせる活動を展開しました。
- (3) 結果として、2023年12月末時点での同プロジェクト対象項目の預金・融資・各種サービス新規取引実績は36,272件、「北海道ろうきんATM利用件数」は1,118,143件、非対面項目が21,603件、ろうきん運動項目が1,183件、NPOとの連携項目が24件となりました。また、今年度より追加となった【ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数】については、162,190回となりました。利用実績やろうきん運動項目等に応じた福祉団体への寄付見込額は7,851千円（前年同期比+582千円）となりました。

【預金・融資・各種サービス実績】

No	項目	年間目標	12月末実績	達成率
①	メイン化（給振・年金・公振・クレジット）	18,000	15,367	85.4%
②	預金（財形・エース・お子さま口座）	6,350	4,943	77.8%
③	融資（団体融資・手形貸付等除く）	15,427	13,853	89.8%
④	預かり資産（個人型DC新規・投信契約者増加数・国債新規）	1,684	2,109	125.2%
	合計	41,461	36,272	87.5%

【北海道ろうきんATM利用件数】

項目	件数
北海道ろうきんATM利用件数	1,118,143件

※ 北海道ろうきんATMにて入金・出金（ローンカード含む）1回につき1円を寄付。

【ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数】

項目	件数
ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数	162,190回

※ 北海道ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数1回につき1円を寄付。

【非対面項目実績】

項目	年間目標	12月末実績	達成率
非対面（ろうきんアプリ・エコ通帳・団体IB）	21,100	21,603	102.4%

【ろうきん運動項目実績】

No	項目	回数・会員数
①	学習会開催回数	797回
②	議案書・機関紙への掲載会員数	386会員
	合計	1,183

【NPOとの連携項目実績】

No	項目	件数
①	融資相談件数	13件
②	NPO法人普通預金口座開設数	11件
	合計	24件

【会員自主目標推進運動実績】

項目	会員数
会員自主目標設定会員数	662会員

2. 職域活動費の効果的な活用【資料4-①・②参照】

- (1) 会員による職域活動費を活用した学習会は405回、延べ10,711名出席となり、会員組合員との接点強化が図られました(内、WEBを活用した学習会は2回となりました)。
- (2) 主に、「新人説明会」「若年層説明会」「住宅ローン等商品説明会」「資産形成に関する学習会」を目的とした活用となりました。
- (3) 取組みの結果、職域活動費の活用金額は18,633,685円となりました。

3. 新型コロナウイルス感染症の分類見直し後における運動の展開

新型コロナウイルス感染症の分類が「2類相当」から「5類」に見直されたことをふまえ、全道推進会議主催の「ブロック別研修会」を4ブロックで開催しました。

また、「連合北海道」「北海道労働者福祉協議会」が「勤労者福祉の向上」を目的に展開する「勤労者福祉向上キャンペーン」の一環として、関係団体との合同による労働福祉事業団体の利用拡大に向けた要請活動を都合23産別・2ブロック労福協（宗谷・留萌）に対し実施しました。加えて、労福協運動の理念・歴史を継承するために開催された「北部労福協『第8回労働者福祉運動の理念・歴史講座』」に参画しました。また、2月15～16日に開催する「第2回全道ウェルフェアスクール」に参画します。

今後は、2023年度の活動内容を総括の上、2024年度の推進活動方針を策定していきます。

【2023 年度ブロック別研修会開催日一覧】

対象ブロック	開催日	開催地
網走	10月25日(水)～10月26日(木)	北見市
宗谷・留萌	11月17日(金)～18日(土)	稚内市
後志	11月22日(水)	小樽市
日胆	12月14日(木)～12月15日(金)	苫小牧市

4. 連合北海道 2023 生活アンケート（速報値）

- (1) 「身近に感じる金融機関」の項目において、「ろうきん」と回答した割合は、26.8%となり、全体で2位となりました。
- (2) 「日常生活で一番よく利用する金融機関」の項目において、「ろうきん」と回答した割合は、21.5%（前回比▲1.5%）となり、3位となりました（前回と同位）。
- (3) なお、上記設問において、自組織内に金融機関を有する組織の回答を除いた場合、「身近に感じる金融機関」は1位、「日常生活で一番よく利用する金融機関」は2位となります。
- (4) また、「フルキャッシュバックサービス」「ろうきんつなぐプロジェクト for SDG s」等の各種サービス・取組みに対する認知度を問う設問では、「知らない」の回答割合が前回より増加していますが、年齢別の回答からは、年齢が低い程「知らない」の回答割合が高く、コロナ禍を理由に教宣活動に対し制限があったことが要因であると考え、今後取組を継続していきます。

<協議事項>

1. 連合北海道 2024 春季生活闘争における「ろうきん運動」の取組み

- (1) 連合北海道は、第 87 回地方委員会（2023 年 12 月 19 日）にて、「2024 春季生活闘争方針～ろうきん運動の推進～」を確認しました。
- (2) 全道推進会議としては、「2024 春季生活闘争地域討論集会」にて、春闘ゾーンにおける「ろうきん運動の推進」の取組強化を確認・実践すべく、労福協を通じた運動を強化していきます。

2024 春季生活闘争方針「ろうきん運動の推進」の取組み
<p>(1) 可処分所得向上運動の推進</p> <p>昨今の物価高騰等の状況を踏まえ、「銀行カードローン問題への対応（ろうきんカードローンの保有・活用）」「他行・他社高金利ローン借換」「奨学金借換ローンの推進」により、組合員の可処分所得向上を図る取組みを展開します。</p> <p>組合員の「可処分所得向上額 10 億円以上」を目標に、以下のろうきん商品・サービスを重点運動項目とします。</p>
<p>【重点運動項目】</p>
<p>① 「マイプラン」や「メンバーズローン」等を活用した高金利商品からのろうきん商品への借換の取組み</p> <p>② 「奨学金借換ローン」および「奨学金借換+αローン」の周知活動の展開</p> <p>③ 「全力応援 pack」の周知による非正規雇用組合員の取引拡大の取組み</p> <p>④ 職域活動費を効果的に活用した、学習会等による組合員への周知活動の展開</p>

(2) 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動（*）

「つなぐプロジェクト件数目標」と「会員自主目標推進運動」の連動を強化することで、「会員組合員メインバンク No. 1」に向けた取組を継続します。

また、「会員自主目標の達成」に向け、職域活動費を有効活用した学習会・セミナーを開催し、ろうきん運動の前進を図ります。

※「つなぐプロジェクト for SDGs」は、会員・推進機構とろうきんが一体となつて、地域における共生社会の実現を目指す取り組みです。本プロジェクトは、取組項目を件数目標として見える化し、会員が自主目標として設定・推進することにより、ろうきん運動の更なる活性化を図るとともに、その営みを通じて、会員における福利共済活動の充実を図り、ろうきんの「会員組合員メインバンク No. 1」の実現を目指す取り組みです。

(3) 各階層におけるろうきん運動の推進

①退職金結集運動

「組合役員による帯同オルグ」「退職に向けた資産形成に関する学習会」を通じて、ろうきんへ退職金を結集する運動を展開します。

②若年・女性・非正規雇用組合員に対する取り組み

「フルキャッシュバックサービス」や「ろうきんアプリ」「みんなのマネ LABO」を周知しながら、「ろうきんメインバンク推進（お子さま口座を含む口座開設・給与振込）」「将来に向けた資産形成（財形貯蓄・iDeCo・つみたて NISA）」「低金利の融資商品利用」の取組を展開します。

2. 各種取組みの周知活動

(1) 「無担保3商品」新規金利引き下げ【別添チラシ参照】

① 会員組合員の融資資金ニーズに応えるべく、会員組合員への「応援金利」として2月1日より、無担保融資3商品（*）を対象とした新規金利引き下げの周知活動を展開します。

* 対象商品：①轟ローン・轟先生・轟ほっと、②教育ローン、③無担保住宅ローン

② 新規金利引き下げにて、「競争力のある金利水準の周知活動」を通じた「組合員の利用拡大」に取り組むことで、ろうきんメインバンク No. 1 運動を着実に推進します。

3. 役員の変更

下記の通り、役員を変更します。

役職	旧役員氏名	新役員氏名	所属
副議長	永田 重人	小倉 佳南子	連合北海道

4. 今後の日程

開催日時（予定）	会議名	開催場所
2024年4月26日（金）14時30分	第5回全道推進会議	ホテルポールスター札幌

以上